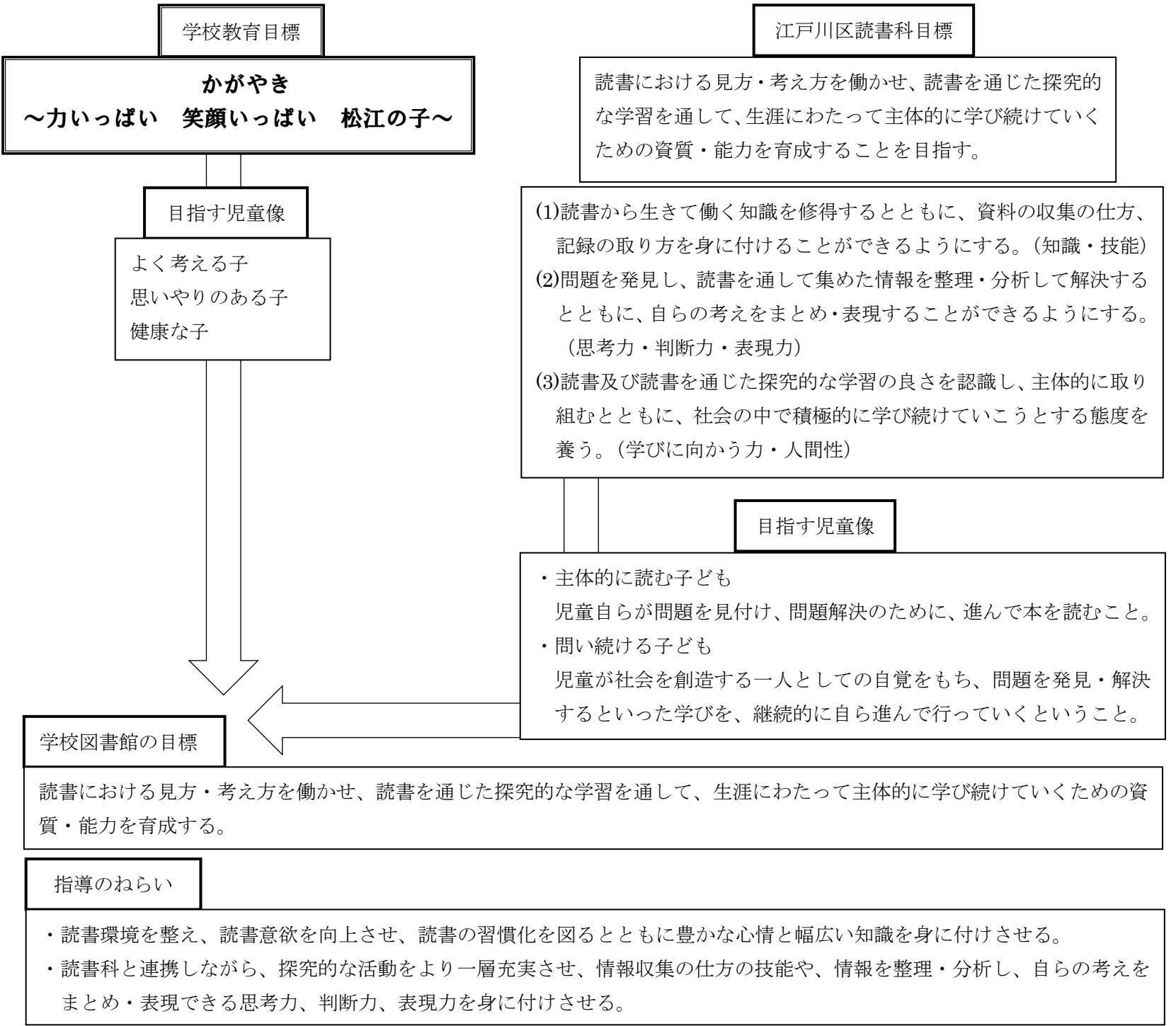


学校図書館全体計画



特色ある教育活動		
読書科の推進 ・ 1 時間単位の時間を 1 2 単位時間／年 ・ 学校図書館や松江図書館を活用して情報収集能力を育成し、探究的な活動の充実を図る。 ・ 低学年は「えほんのもり」を活用し、言語環境や読書環境を充実させる。	I C T機器の活用 ・ 学校図書館とパソコン室を一体とした機能を活かし、学習・読書・情報センターとして探究活動をより一層充実させる。	家庭・地域との連携 ・ 保護者による読書ボランティアが、朝読書の時間に読み聞かせを実施する。また、学校図書館司書と協力して学校図書館の整備や、掲示物を作成し読書への啓発を行う。 ・ 地域の松江図書館と連携し、図書館訪問、レファレンス等を通じて読書環境を整える。
朝読書 ・ 2 3 単位時間／年	読書月間 ・ 年 2 回の読書月間を実施	図書委員会 ・ 読書月間に読み聞かせやポップ作りを行う。
異学年交流による読み聞かせ ・ 3 学期にペア学年間で読み聞かせを実施	年間の読書目標冊数の設定 ・ 学年ごとに読書目標冊数を設定	教師による読み聞かせ ・ 読書月間に全校教師による読み聞かせを実施
おすすめの本紹介 ・ 児童、教員、学校図書館司書で実施	青少年読書感想文コンクール参加 ・ 全学年で参加	中学生による読み聞かせ ・ 中学生が小学校に来校し、読み聞かせを実施
調べる学習コンクール ・ 全校を対象に保護者に参加を呼びかける。4 年生以上の児童には、夏季休業前に事前指導を実施。高学年の応募が多数。		小中連携プログラム ・ 重点を「図書館・図書資料の活用の仕方」として、小中で連携して取組を実施。